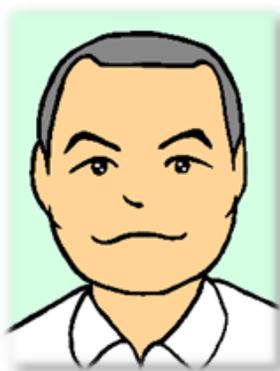




『過去の歴史からみらいの風へ』



藤田 寛

全国大会開催に神奈川県が立候補したときは「まだ先だなあ」という感じがしていたが、気が付くともう来年の6月に迫っています。実行委員会かながわ全国大会みらいプロジェクト(略称:みなプロ)」が発足し、大会プログラムの企画(会員公募)を検討していると全国大会ならではの様々な企画案に、実現したときのワクワク感が湧いてきます。今後は総務部として舞台裏をきっちり詰めていく準備にかかります。

私事になりますが、およそ30年前に医療ソーシャルワーカー(以下、MSW)になった時は、ちょうど社会福祉士・介護福祉士の資格ができる時期と重なったこともあり、日本のMSW業界が大きく揺れ動いている時でした。日本協会に入会し最初に参加した全国大会(日本協会総会)は、東京で開かれた臨時総会だったため、「我々の国家資格をどうするんだ」という大激論を入会したばかりで議決権のない傍聴席から眺めていました。神奈川県は賛成派・反対派(そのような表現があっているかどうかはわかりませんが)の代表格のメンバーを擁していた県協会でもあり、まさに日本のMSWの歴史の先頭を走ってきた県だと思います。当時私は他県にいましたので、神奈川県に転動してきた時は、この業界の著名な先輩方(テキストに名前が書いてあるような)を輩出している県に来たという感が歪めませんでした。実際に神奈川県(横浜労災病院)で働き始めて、実際の日常業務や県協会をはじめとする職能団体や研究会等の活動を通じて魅力的な先輩たちや仲間たちに沢山出会うことができました。

全国には、まだまだ沢山の魅力あふれるソー

シャルワーカー(以下、SW)たちがいるはずで。全国大会は、そうした魅力あふれる仲間たちに出会うことができる貴重な機会にもなります。新人さんも、中堅さんも、ベテランさんも是非こぞって足を運び、全国の多くの仲間たちと出会ってください。社会福祉士の資格ができてから社会人になり、今現場で働いている皆さんは、自分たちの歴史を振り返り学ぶ機会を持っていただけると嬉しいです。多くの先輩たちが意見を戦わせ、自分たちの専門性をいやになるくらい悩み考え、その結果、今ある自分たちの立ち位置は自分がSWらしく働ける状況になっているのだろうか。全国大会は、SWである我々が、「自分はちゃんとソーシャルワーカーをやっている」ことをお互いに確認し合える場でもあります。

さて、前回のニュースでもお知らせしたように、今回の全国大会では子育て世代の皆さんが参加しやすいように準備を進めています。子連れでの参加は勿論、託児スペースも作ります。自分が学会に参加している間、パートナーに見てもらうのであれば、パートナーはフリーで入場可能にする予定です。ベビーシッターの準備も進めていますので、お子さんをシッターさんに預けてプログラムに参加することも可能です。誘い合って親子で参加してください。

それと将来のMSWを目指している学生さんたちがさまざまな体験ができる参加の仕方も検討中です。現場のSWから今は教鞭を取っている先輩たちも神奈川県は数多く輩出しています。今学校で未来のMSWを育てている先生方も、多くの学生さんたちの学ぶ機会として全国大会の場を活用していただきたいと思います。

神奈川県の上の歴史の上に、今を支えているMSWの力が加わり、未来のMSWを目指す希望が加わって、みんなで「みらいのソーシャルワークの風」をつくっていきましょう。

「交流会部会について」



佐野 晴美

「参加して、良かった！楽しかった！かながわらしい！」と提供いただけるような、素敵な交流会の実現をめざし4名で活動しています。

かながわ大会のテーマは「ともに生きる～みらいのソーシャルワークの風をつくる～」で、「ともに生きる」「当事者性」「MSWマインド」「神奈川らしさ」「医療」の5つのポイントを基本

2019年かながわ大会の交流会部会は、全国からいらっしゃる参加者の皆さんや県協会の皆さんが、

に大会プログラム等練られています。実はプロジェクトの会議では大会テーマを決めるプロセスの中で、この5つのポイントの他に、「ダイバーシティかながわ」が上がっていました。

交流会部会では、このダイバーシティかながわを忘れないでいたいとの思いから、「ダイバーシティかながわへようこそ」という交流会テーマ・キャッチフレーズで、参加者の皆さんをお迎えすることを検討中です。そして、参加者の皆さんが、全国の仲間と交流を持つことができ、一緒に楽しめるイベントもいろいろ考えています。

皆さん、ぜひ交流会に参加

してください。全国の医療ソーシャルワーカーや、お話ししてみたかった憧れの先輩達と直接交流が持てる良い機会です。皆さんの参加をお待ちしています。立食パーティー形式の食事（飲み物付）を用意しています。



交流会会場：ホテル精養軒
武蔵小杉駅南口より徒歩3分
(大会会場から徒歩10分)

交流会は大会2日目、
6月8日(土)の夕方開催

「神奈川県に来たら絶対に食べておきたい絶品グルメ(飯編)」



三崎・まぐろ丼
神奈川県三浦半島にある三崎漁港は、全国有数のマグロの水揚げ量を誇る漁港です。



箱根・豆腐カツ煮定食
某お昼のテレビで紹介されてから大人気。豆腐に豚ひき肉を挟んで揚げた後、土鍋で煮込んだもの。

横須賀・海軍カレー
海軍ゆかりの地として歩んできた街「横須賀」は日本で食されるカレーのルーツである「海軍カレー」を、新たに「よこすか海軍カレー」と名付けました。



江の島・釜揚げしらす丼
湘南地方のしらすの旬は年3回。釜揚げしらす丼、生しらす丼いずれも絶品！



「パワーポイントを使用した、プレゼンテーション方法について」



福田 美香

この記事をご覧になっている皆様は、抄録原稿の作成に取り組んでおられることと、同時に、発表で使用するスライド作りのことと、考えておられることと、思います。今回はパワーポイントを使用したプレゼンテーションの方法についてお話します。基本的なことも含めた内容です。

1. スライド作成前に

作成前にあらためて確認です。1. 聴衆や会場を意識する、2. 抄録にそった内容で構成する、3. 抽象的・不快な要素は避ける。この3点は必ず押さえましょう。意外と意識できていないことがあります。発表で伝えたい内容はどこなのか、作成したい枠組みは抄録と大幅にずれていないか、わかりにくい表現になっていないかなど、今一度整理した上で取り組みます。読み原稿を先に作成して取り組む方法もありますし、スライドから大枠を作成していから読み原稿に取り組むこともできます。自分にあった方法で取り組みます。

2. スライドの流れ

抄録で、すでに構成はできています。「目的」「方法」「結果」「結論」に沿っていることが求められています。大枠は構成を守りつつ作成します。

3. スライドの作り方

演題発表時間は10分(質疑応答別)となります。時間内に話せるようスライドをまとめます。1枚30秒程度がよいとされていますが、内容によってはもう少し長く上映することもあるでしょう。しかし、2枚で3分程度には収めるようにします。大切なのは、上映している内容と、話している内容が一致するように進めることです。

また、フォントは24~36の間が目安です。字体では明朝は避けて、ゴシック、丸文字、メイリオ、ポップ(太字)などが見やすいでしょう。行間もつめすぎないようにします。事例を活用する場合は、倫理的配慮を怠らないようにし、日本協会が提示している注意事項を参照ください。

4. 図や表について

図、表も見やすく工夫します。強調する部分を色でハイライトにしたり、囲うことや、矢印で強調すると効果的です。会場から見やすくするために、列を揃えるなど、配置を揃えることも大切です。アニメーションも効果的に活用しましょう。懲りすぎると逆にわかりにくくなるので注意です。

5. 最後のしあげについて

スライドは、上書き訂正するよりも、訂正することに原稿①、原稿②と個別に保存することをおススメします。後にはじめのスライドがよかった！ということもあるからです。できたスライドは何度も上映し、声に出してプレゼンしてみても、他者に見てもらおうといいです。読み原稿もあると安心です。読み原稿は1分300字程度が目安になります。

最後に当日の質疑応答に備え、準備します。神奈川大会にエントリーされた皆様！最後のラストパートを是非共にごがんばりましょう！当日の発表楽しみにしています。



早いもので今年も残すところ1ヶ月となりました。平成最後の冬、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

10月20日(土)に川崎市コンベンションホールにてかながわ全国大会みらいプロジェクト第10回全体会議及び第3回日本医療社会福祉協会(以下日本協会)との合同会議が行われました。

今回は日程の都合で出席者も少なかったため、各事業部の報告と今後進めていく上で確認事項等を中心に話し合いました。簡単に以下担当部会からの報告をさせていただきます。



○プログラム部会
県協会全会員を対象に公募したプログラム企画は現在14題となっています。理事会承認に向けてプログラム内で調整しています。

○交流会部会
「ダイバーシティかながわへようこそ！」とテーマを掲げて交流会を企画。中。神奈川県らしいメニューやお楽しみイベントについて検討中しています。

○広報部会
第7号までニューズペーパーを発行しました。現在8号を製作中です。かながわ大会のご案内第2弾も配布しました。全国大会ポスターも現在製作中です。

○プロモーション部
プロモーション第2弾を作成中です。今後、第1弾を含めYouTubeにアップする予定です。

○学術部会
10月30日に学会発表ゼミナールを開催しました。また、ニューズペーパー7号、8号に「私たちの学会発表講座」を掲載します。

○総務部
プロジェクトメンバー理事にて総務部を立ち上げました。11月に第1回会議を開催予定です。マスコットキャラクターに「カモメ隊長」が決定しました。伊東マリンタウンの担当者とも打ち合わせを行い使用に向けて動いています。

全国大会開催まであと6ヶ月となりました。日本協会より学会演題募集のお知らせが皆さまのお手元に届いているかと思えます。いよいよですね！

皆さまでかながわ全国大会を盛り上げていきましょう。

「総務部発足」

長谷川 知美

11月より、みなプロ内に理事を中心とした「総務部」が発足しました。全国大会に係る事務的な取りまとめや大会会場や懇親会会場との連絡調整、寄付や広告募集、ホームページやSNSに関すること、教育機関への広報や学生企画の取りまとめ、託児や運営スタッフの調整など、既存のどの部会にも属さない業務、いわば“プロジェクトの足回りを整える”ことが主な役割になります。

みなプロ発足から、これまでアイデアをたくさん持ち寄る

ことを中心に行ってききましたが、総務部発足により対外的な活動が増えていきます。そのことにより6月の全国大会が一気に近づき現実味を帯びてきたような気持ちになります。

これから、かながわのソーシャルワーカーのみなさんの協力をお願いする機会が増えると思いますので、どうぞお力添えをよろしくお願いいたします。



【編集・発行】

かながわ全国大会みらいプロジェクト広報部 櫻井優光、鈴木克典、高瀬昌浩、中村悦史、長谷川知美、水野茂樹
(一社)神奈川県医療ソーシャルワーカー協会事務局 TEL/FAX 045-827-1217 E-mail: msw.kana@proof.ocn.ne.jp